

## 平成21年度活動計画（案）について

### 【基本方針】

平成20年度活動計画にて策定した中期的活動項目である「調査研究」「人材育成」「ICT啓発」事業を、引き続き九州広域において着実に推進していくとともに、今後のK I A Iの活動基盤をより強固なものにしていくための組織体制の在り方に関する検討についても具体的な取り組みを進めていく。

### ○調査研究

#### 「九州広域ICTプラットフォーム調査研究」

20年度に引き続き、九州広域における情報共有化に向けてのICTプラットフォームの仕組みづくりに向け、下記項目を中心とした調査研究を進める。なお、検討に際しては、危機管理分野のみならず、広域で共有すべき様々な情報を対象とする。

- ・ Web-GISを活用した広域災害情報共有システム「九州広域防災ポータルサイト」の評価検証実験の推進。

広域ICTプラットフォーム上で活用する共通アプリケーションモデルの例として、本ポータルサイトに対する評価検証協力を、九州内関係機関に対して積極的に働きかけ、実用アプリケーションへの展開の可能性を探る。
- ・ 地理的条件不利地域における臨時的情報通信インフラ構築実験

通信環境が劣悪な地域での災害等を想定し、災害現場と広域ICTプラットフォーム間をテンポラリー（臨時的）に接続する手段に関する実証実験を、20年度に引き続き実施し、九州の地理的特性に対応した、実用性の高い接続モデルの構築を検討していく。
- ・ 地域コンテンツ広域流通サービスプラットフォーム検討

地域内での活用に留まっている様々なコンテンツの高度利活用を実現するためのプラットフォーム構築に関して、20年度の実験（実験は21年度4月～5月に佐賀市内で実施済）結果をもとに、より広域的観点から調査検討を進めていく。

## ○人材育成

### 「九州ICTオープンスクール」

九州各大学等における若手研究者との新たな産学官連携創出の場として開催。各員の研究テーマの紹介～意見交換だけでなく、現状の地域情報化に関する様々な課題に対してのミニワークショップも実施し、教育プログラムの機能も持たせる。

### 「K I A I 事業と連携したP B L活動」

K I A I 実施の実験活動に対して、あらかじめ募集した九州内の大学生等が実際に参画し、具体的なフィールド実験体験を通じたうえで、個々の新たな研究課題抽出等を図る。当該研究課題に対しては、適宜K I A I も助言等を行い、研究推進を支援していく。また、K I A I ホームページの企画運営、サーバー保守管理を、九州内の大学生等で実施してもらえるような仕組みづくりの検討も進めていく。

## ○ICT啓発

### 「九州地域情報化研究会」

地域におけるICT分野の様々な課題について、九州内外から幅広く専門家に集まっていたいただき、地域の方々と共に課題解決を図っていくワークショップ型の研究会を開催。

### 「九州JGN2plusシンポジウム」

ICTに関する様々な研究開発動向等を紹介していく本シンポジウムは、例年次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会が事務局となり各県持ち回りで開催してきたが、21年度以降は、K I A I 事業として実施。

### 「(仮称) 広域防災プラットフォームワークショップ」

K I A I にて調査研究を進めている「九州広域防災ポータルサイト」をはじめ、Web-GISを活用した広域防災プラットフォームに関する様々な事例紹介等を行うワークショップを開催。

### 「各種共催、後援、支援事業」

21年度も引き続き、九州内(外)の様々な地域・機関における地域情報化関連イベントの共催、後援、支援事業を可能な範囲で実施していく。

#### 21年度 実施済事業

- ・能登半島ICTサミット後援(総務省北陸総合通信局主催)
- ・九州ICTセミナー2009開催(K I A I 主催)

## ○その他

### 今後のK I A Iの組織体制についての検討

今後のK I A Iの組織の在り方について、専属的に検討していくワーキンググループを立ち上げ、21年度中に新たな具体案を示すことを目標として検討を進めていく。当該ワーキンググループは基本的にはK I A I会員を中心として構成するが、適宜外部有識者にも参画いただき、幅広い議論を進めていく場とする。

### [全体スケジュール案]

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>広域P F 研究</b> ・広域防災林 <sup>1</sup> - 外 ・臨時的情報 通信インフラ 実証実験関連 ・コネクティブP F	九州内関係機関へのプレゼン～評価検証実験 ワークショップ準備 → ●開催（8月下旬～9月上旬頃） 実証実験企画・準備 → ●実施（10月下旬～11月中旬） ●実証実験（5月済） 広域展開検討 *年度内に新たな実証実験も計画										
OP スクール	開催地、内容検討（年内確定目途） → 検討課題設定等 → ●開催										
P B L	対象大学選定・調整 → 具体的スタート										
地域研究会	場所、日程、テーマ等確定 → 内容、出演者確定 → 案内開始 → ●開催（1月下旬）										
JGN シンポ	内容検討、出演者確保 → 案内開始 → ●開催（12月中旬）										
組織WG	●WG設置 検討開始（適宜オンラインミーティング） → ●答申										